

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

新湧別町誕生

10月5日サロマ湖西岸の湧別町と上湧別町が合併し、サロマ湖地域では平成18年の常呂町と北見市に続いての合併で、町名は「湧別町」、所在地は旧上湧別町の庁舎を本庁舎とし旧湧別町の庁舎は総合支所となりました。 総人口 10,272人(平成21年9月末)
面積 505.74平方キロメートル

町のマスコットチュービット



湖内の水質見張番を設置

ホタテやカキの成長を左右する水質を自動で測定する装置がサロマ湖内に設置され、塩分濃度や水温、流速などの測定データが携帯電話を通じて研究施設のあるサロマ湖養殖組合に送られ、養殖管理作業の目安として活用されています。平成14年に4基が設置されましたが、広い湖内の中央部が未設置だったため、平成19年にはこの区域でホタテの大量へい死が発生したことから今回の設置となり、広範囲にわたる情報の集積が可能になりました。



地産地消イベントは大人気!!



北見菊まつり



サロマ大収穫祭



湧別町産業まつり



北海道物産品取引商談会(ロイトン札幌)

オホーツクフェア(サッポロファクトリー)



オータムフェスト
(札幌市大通公園)

いべんとじょうほう



全国のカキ産地が11月23日を「牡蠣(カキ)の日」に定め全国そろってカキに関するイベントが行われていて、サロマ湖周辺でも生産者を中心に即売が行われます。

・湧別町では、11月23日湧別漁港に隣接する漁協直販店「湧鮮館」横の特設会場で午前10時から「かきまつり」が行われ、殻付やむき身即売のほか活ジメのカレイ等を漁師さんが直接販売します。今年は、上湧別町との合併を記念して両町の農協も牛肉や野菜等の農産物を格安で販売し、会場内には炭火焼コーナーが設置されその場で味わうこともできます。



湧別かきまつり(昨年)

・佐呂間町では、11月15日道の駅サロマ湖で午前10時から「旬の味覚即売会」が行われ、カキやホタテの産直販売のほか漁協女性部による特製カキご飯やホタテ浜焼きなどが行われ、隣接する物産館で農産物や土産品なども格安販売されます。



ところ物産まつり(昨年)

・北見市では、12月13日常呂町多目的研修センターで午前9時から「ところ物産まつり」が行われ、新鮮なホタテやサケ等海産物のほか、収穫されたばかりの農産物や流水焼など工芸品も即売されます。

・サロマ湖内の環境と漁業をテーマにしたシンポジウムが開催されます。

日 時 平成22年1月9日(土)午後2時30分

場 所 佐呂間町コミュニティーセンター

主 催 北海道大学大学院工学研究科沿岸海洋工学研究室、水産科学研究院水産総合基盤システム科学分野、サロマ湖養殖漁業協同組合、サロマ湖地域マリンビジョン協議会

発 行 サロマ湖マリンビジョン協議会

編 集 サロマ湖マリンビジョン協議会事務局

〒099-6404 湧別町栄町112番地の1

湧別町総合支所産業振興課内

Tell 01586-5-2211・Fax 01586-5-2283

Mail sangyou@town.yubetsu.lg.jp

